



本 日 第2125回 2014年10月24日(金) No. 2011

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

卓話者: 舟橋 龍秀君

演 題: 「お茶の話」

前 回 第2124回 2014年10月17日(金) 記 録

○斉 唱: 「日も風も星も」

○来訪者: 愛知ロータリーEクラブ

幹 事 稲熊 茂男君

プログラム委員長 猪飼 順子君

○出席者: 会員25名中19名出席 出席率76.00%

前々回補正出席率 10月3日分96.00%



△愛知ロータリーEクラブ 幹事 稲熊 茂男君(右)

会長あいさつ 古橋 裕志

先週の7月8日には東北災害復興支援事業として井田社会奉仕委員長、菊田青少年奉仕委員長、箕輪直前会長、加藤清久親睦活動委員長、桜井職業分類委員長と私の6人のメンバーで宮城県の松島町と福島県の三春町を訪問し、多くの人々と接し、有意義な奉仕活動だったと思います。

三春町では富岡町から工場の事務所の建物を借りての仮設校舎で、幼稚園、2つの小学校、中学校と総勢約70名が一つの建物で教育、授業を約4年間受けている状況が私なりに行政、各機関に対して疑問を抱きま

した。先生、生徒さん達は、今の現状にめげずに一生懸命頑張っていたと思います。

先週はノーベル賞の発表があり、物理学賞で日本人3名が青色発光ダイオード(青色LED)の成功で受賞されました。光りの三原色は赤色、緑色、青色でこの三色によって白色が実現でき、漁業、農業、交通、医療、通信の他、各種産業分野などの実業の域に入り、学問、科学がこれから、またどれほどの人の生活に役立つか改めて教えられた思いです。

受賞者の中村修二さんは「個性を伸ばす教育が大切」そして「本に書いてあることはもう死んだ知識で過去の遺産」と述べています。

次にノーベル平和賞にパキスタンのマララ、ニズバザイさん17才で受賞。彼女は「マララ基金」を貧しい国々の子どもの就学、教育に支援を目的に創設され、彼女は「世界のすべての子どもにペンと本を」そして「ペンと本を手にとろう教育こそが唯一の解決策」と訴えています。また、同時に受賞されたインドのサティヤルティさんは児童権利擁護活動家でガンジーの精神を今に伝えたいことが評価されての受賞です。二人の共通点は教育の権利拡大です。

ノーベル平和賞を創設されたアルフレッド・ノーベルは「人類に最大の恩恵をもたらした人物」に賞を贈ると記した遺言書を残しています。

最後に先ほどの富岡町の子ども達の仮設校舎での、教育、授業、どこか共通点があるような気がいたします。今回は「教育」というキーワードにてあいさつとさせていただきます。

幹事報告

・名古屋空港RC40周年の礼状が届いております。

職業奉仕・米山奨学月間

	10月31日(金)	11月 7日(金)	11月14日(金)	11月21日(金)
例会予定	卓話担当者: 西尾 輝久君 演題: 「歯の生活習慣病対策について」	卓話担当者: 飯田 幸雄君 卓話者: 地区奨学基金・学友・平和フェロシッパ委員長 小島 哲夫君(豊田中RC) 演題: 「[改革] ~新しいロータリー財団」	ガバナー公式訪問 卓話者: RID2760地区ガバナー 近藤 雄亮君 (名古屋瑞穂RC) 演題「公式訪問に因んで」	職場例会・見学 場所 富士特殊紙業(株) 瀬戸市曉町 卓話者: 杉山 仁朗君

・地区ライラセミナーの案内 高校生から30歳までの受講生を募集 2015年3月21日・22日

美浜少年自然の家 11/21締切

- ・本日の会合：なし
- ・次回の会合：第1回パスト会長会
- ・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○勉強をしに参りました。

愛知ロータリーEクラブ 幹事 稲熊 茂男君
○本日は勉強に参りました。皆さまにお会いできたこと、嬉しく思っております。よろしくお願いいたします。

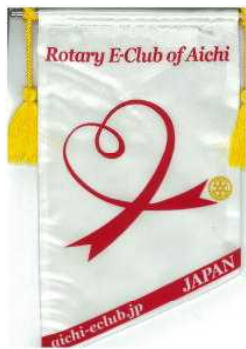
愛知ロータリーEクラブ 猪飼 順子君
○愛知ロータリーEクラブ 幹事 稲熊 茂男君、プログラム委員長 猪飼 順子君、ようこそ。我がクラブの雰囲気を楽しんでください。古橋 裕志君
○愛知ロータリーEクラブの猪熊幹事、猪飼プログラム委員長、ようこそ、おいでいただきました。

浅野 善吉君、江尻 豪君、加藤 清久君
舟橋 龍秀君、森井 晴生君、箕輪 良孝君
○東北の応援に行かれた皆さま、お疲れ様でした。

福岡 健君
○本日は卓話をさせていただきます。桜井 雅博君
○井田さん、桜井さん、東北支援報告、よろしくお願いいたします。加藤 清久君
○江尻君、ありがとうございました。箕輪 良孝君
○出張のため、早退させていただきます。

古橋エツ子君

バナー交換



2014年10月17日
愛知ロータリーEクラブ
新クラブあいさつ来訪
幹事 稲熊 茂男君

卓 話

「健康づくり活動による、

東日本被災地復興支援事業」報告

社会奉仕（環境保全）委員長 井田 武憲



台風一過の10月7日（火）8日（水）と「健康づくり活動による、東日本被災地復興事業」として当ロータリークラブ員6名にて、宮城県仙台市、宮城県松島市、福島県田村郡三春町方面へ行ってきました。

第1日目は、松島第二幼稚園へ訪問し「健康タオル」を全園児たちに一人ひとりに贈呈しました。

続いて松島ロータリークラブの例会に出席し、タオルを贈呈しましたが、訪問3年目ということもあり和気あいあいとした雰囲気の中交流を深めることができました。

その後、津波被災地を通りましたが雑草が繁茂して三年前の9月の面影はありませんでしたし、海岸線では高い防潮堤（壁）の工事が行われ陸地からは海が見えなくこれが現実かと考えさせられました。

第2日目は、三春町へ行き、まず福聚寺（ふくじゅ）へ寄り2001年「中陰の花」で第125回芥川賞受賞者 玄侑宗久（げんゆうそうきゅう）住職と面談しました。

次に、三春町役場へ訪問し、尾張旭市から出向職員（除染対策課主幹）と役場の職員を交えながら懇談をし、町の現況、除染の進捗状況の話がありました。また、町の公共施設の敷地内（外部）に「リアルタイム線量測定システム（空間放射線量測定機）」が設置してあることで実際に見ましたが、表示数値は尾張旭市の数値の約2～5倍にあたると説明があり複雑な心境になりました。

最後に、富岡町立小中学校・幼稚園へ訪問しましたが校舎は民間会社の工場跡で事務所棟内に仕切りを設置し教室に改造した施設でした。在籍数は約60名、仮設住宅から1時間前後の通学時間がかかるとのことでした。

タオル贈呈式では、校長あいさつの中で遠路訪問し激励を受けたことに感謝することの重要性をタオルを例に具体的に話され、また「早寝、早起き、朝ご飯を食べよう」の中では環境面、精神面において問題点があることを示唆し、現在の環境に強く対処していくことを強調され聞いていた私たちも感動を受けつつ帰途につきました。

この二日間、まさに「百聞は一見に如かず」でした。来年度も復興支援事業が継続されるよう希望しますとともに参加していただいた会員の皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございました。



△松島RC例会であいさつ



△同例会風景



△第1日目 タオル贈呈



△同幼小中学校であいさつ



△同小中校長らと懇談



△三春町役場にて